



# 上賀茂だより

令和7年10月15日(水)

京都市立上賀茂小学校

校長 上原 誠



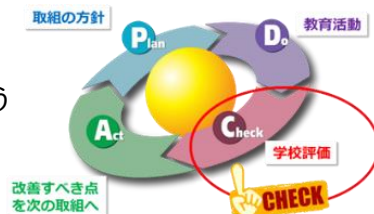
学校教育目標 自ら考え行動し 共に学ぶ子どもの育成

～ 喜んで登校 満足して下校 ～

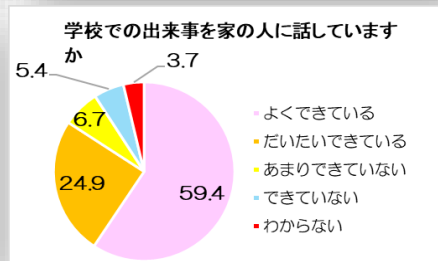
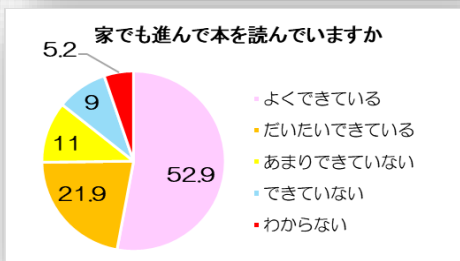
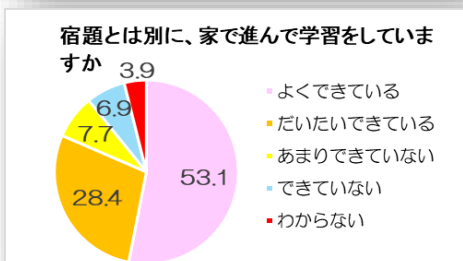
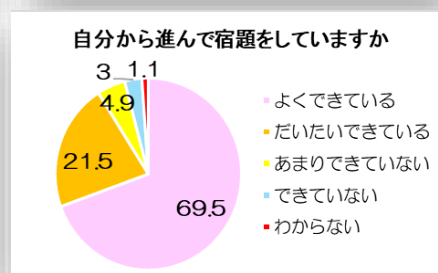
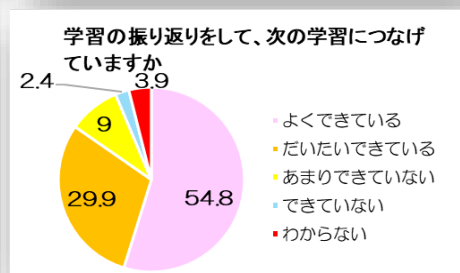
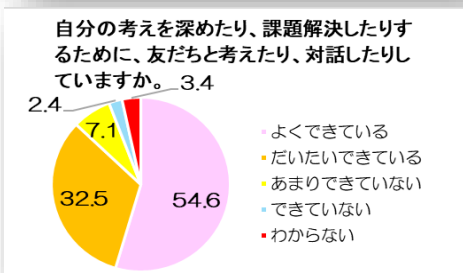
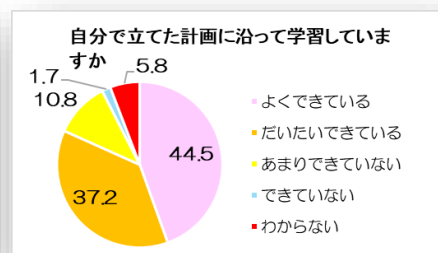
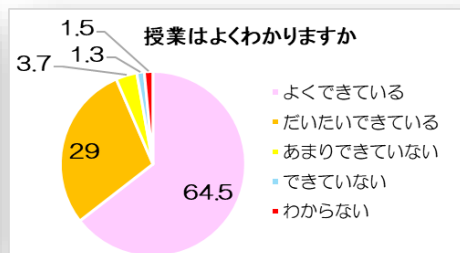
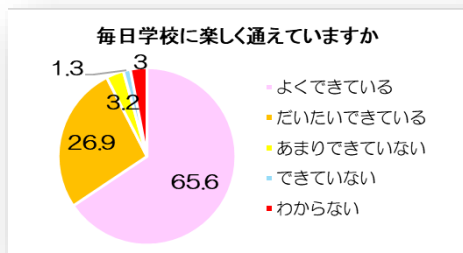
## 第1回 学校評価号

### 令和7年度 第1回学校評価結果について

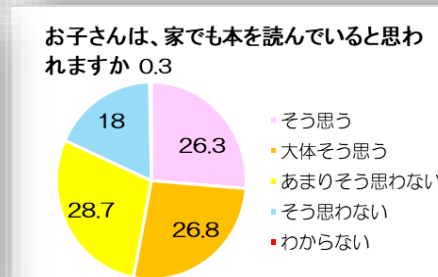
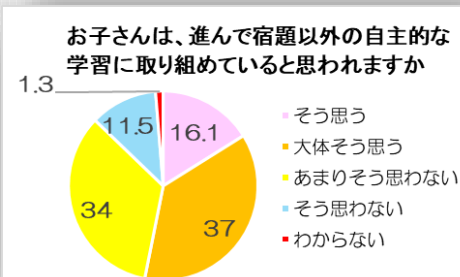
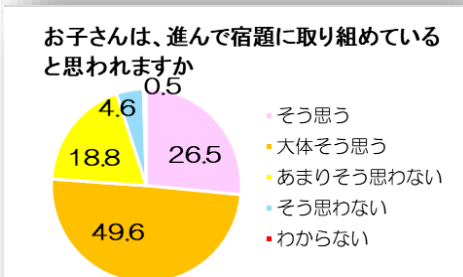
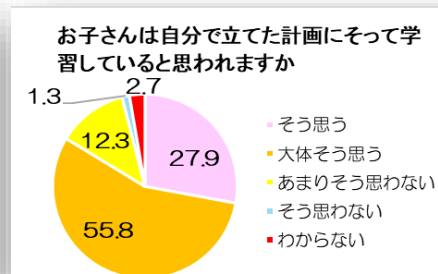
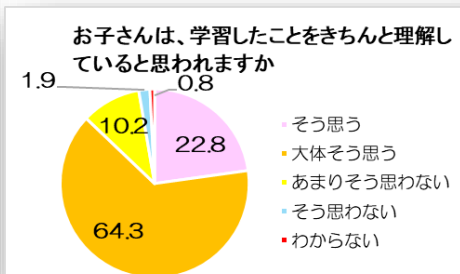
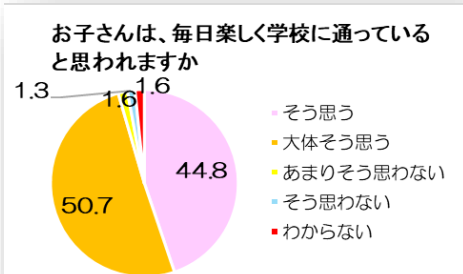
令和7年度第1回学校評価を実施いたしました。お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。いただいたご意見は今後の学校教育活動に活かしていきたいと思ひます。



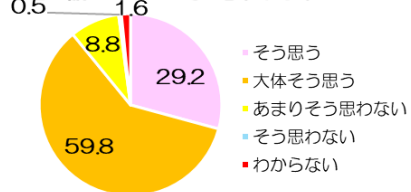
#### 確かな学力 <児童>



#### <保護者>



お子さんと学校での出来事や様子について話ができていると思われますか



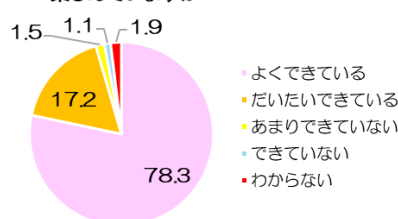
回答結果の傾向は昨年度と大きく変わりませんでした。「家で進んで学習をしているか」「家で進んで読書をしているか」については、児童、保護者ともによくできている割合は高くありません。家に帰ってからの時間は、高学年になるにつれて忙しいものとなり、子どもたちは、計画立てて時間を有効に使うことが大事になってきます。時間に余裕のある低学年、中学年

のうちに、自主学習や読書の習慣をつけておくのもよいかもしれません。

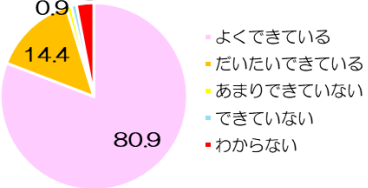
本年度は、「確かな学力」に「自分で計画を立てて学習すること」「友だちと対話する中で自分の考えを深めたり課題解決したりすること」「学習の振り返りをして次につなげること」の3つを新しく追加しました。これらは、これからの時代を生きる子どもたちが、学習する上で大事にしたいこととして、上賀茂小学校で掲げている目標です。あらゆる教科を通して、これらの活動ができるような学習形態を考え、工夫していきたいと思います。子どもの学びがより良いものになるよう、教職員一同、研鑽を積んで参りたいと思います。

## 豊かな心 <児童>

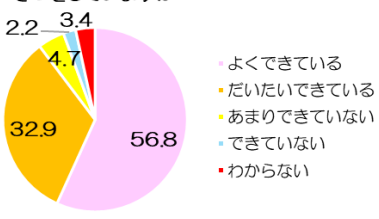
たてわり活動(高学年は委員会活動も)を楽しんでいますか



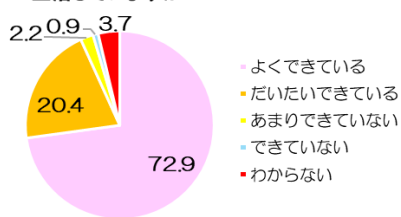
人をいじめたり、仲間外れにしたりしないようにして、仲良く学校生活が送れていますか



誰に対しても、自分から気持ちのよいあいさつをしていますか

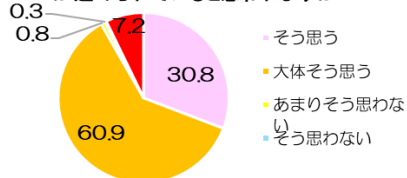


学校の中でも外でもきまりをきちんと守って生活していますか

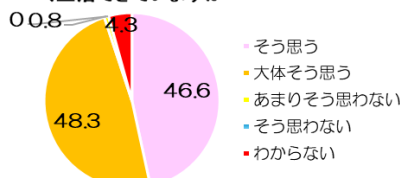


## <保護者>

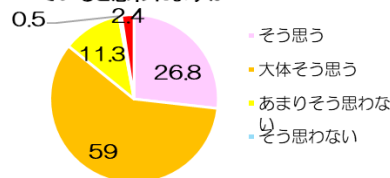
学級活動や児童会活動、たてわり活動などを通じて、子どもの発想を生かした取組が進められていると思われますか



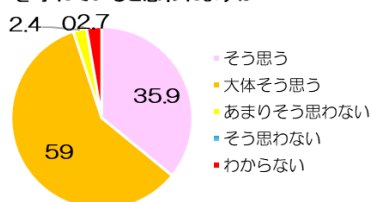
お子さんは、人をいじめたり、仲間はずれにしたりしないように行動し、友だちと仲良く生活できていますか



お子さんは、家族・友だち・近所やスクールガード隊などの人に対して、きちんと挨拶していると思われますか



お子さんは、学校のきまりや社会のルールを守れていると思われますか

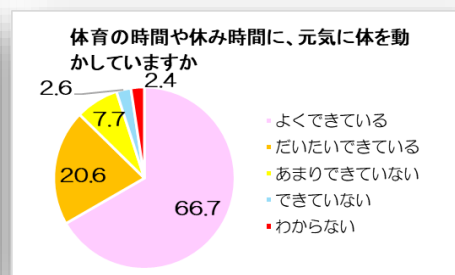
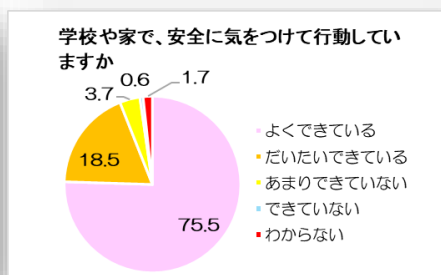
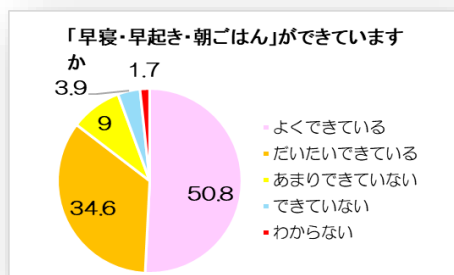


「豊かな心」では、全体的に子どもたちの自己評価より、保護者の皆様の方が厳しく見ておられることがわかります。

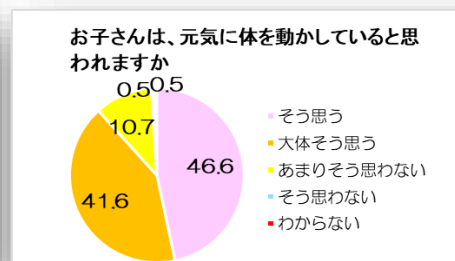
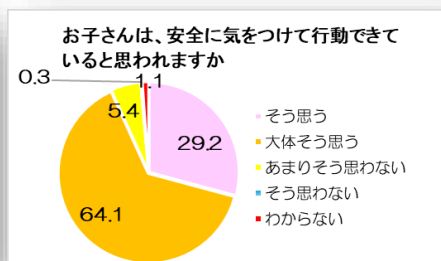
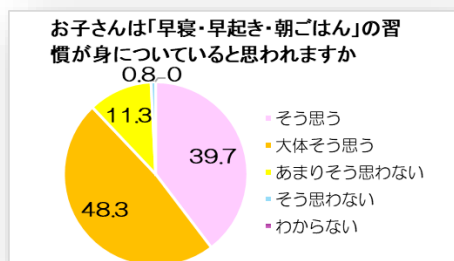
たてわり活動では、どのグループも高学年のリーダーたちが下級生に優しく接している姿が見られます。また、ゲームを進行しながらグループをまとめたり、困ってる下級生に温かく声をかけたりしています。そんな姿は、見ている周りの子どもたちのお手本にもなっています。学年を越えて関わることの大切さを感じる時間です。今後、より充実したたてわり活動を行っていくことが大切だと考えます。

周りの友だちに対しても優しく接している子どもたちが多く、普段あまり一緒にいない友だちに対しても、とても温かく接している姿には感心します。しかし、そうではない場面もあります。気が合わない、喧嘩したなどが原因で悪口、陰口を言われた、嫌な態度をとられたなど悲しい思いをしったり傷ついたりしている子どもたちもいます。相手が自分の望むような態度でなかった、気が合わないなどと思った、などは人と人との関わりの中では普通に起こることです。その時、お互いどうするのかを考え、学ぶこと、そして正しいと思ったことを行動にうつすことが大切です。みんなが愛されて大切に思われている存在であること、一人一人の命の重さを子どもたちなりに感じ、友だちと接する時のベースにしてほしいと思います。学校では、全ての教育活動の中で、引き続き、子どもたちと一緒に考えていきたいと思っています。

## 健やかな体 <児童>



## <保護者>



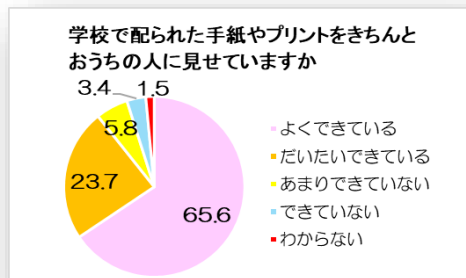
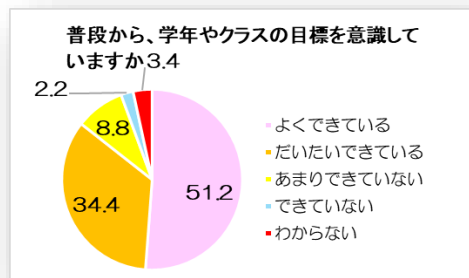
多くの子どもたちは、塾や習い事、スポーツクラブなどに熱心に取り組んでおり、思っている以上に忙しい放課後を過ごしています。高学年になるにつれて忙しくなり、そこに、SNS やインターネット、ゲームなども手軽に見たりしたりできるようになると、さらに、就寝時刻は遅くなってしまう可能性があります。そこで、「確かな学力」のところでも述べたように、計画を立て、限られた時間を有効に使う工夫をすることが大切です。

しっかりと睡眠を取り、気持ちよく目覚めて、余裕をもって朝ごはんを食べることは、子どもの頃にきちんと身に付けておきたい習慣であると共に、健やかな成長に欠かせないものです。子どもたち自身が意識して行動できるよう、健康教育、食育などを中心に学校でも指導していきたいと思っています。ご家庭でのお声かけもよろしくお願いいたします。

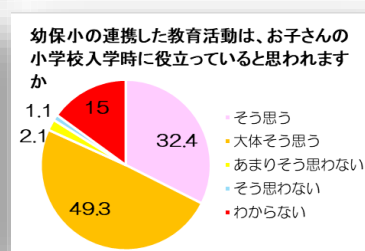
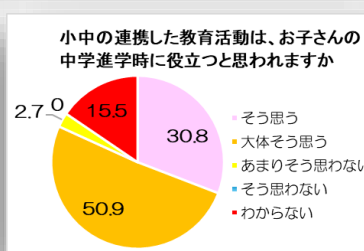
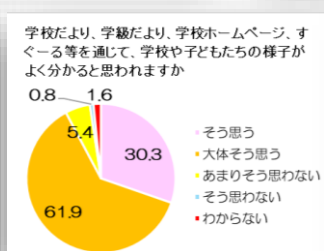
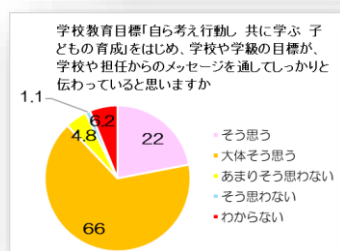
今年の夏も非常に暑く、7月は運動場や体育館で運動したり遊んだりすることができない日が続きました。

た。「元気に体を動かしていますか」という項目では、よくできているという回答が66%を占めていますが、午後からは室内で過ごすことが多かったように思います。

## 学校独自の取組 <児童>



## <保護者>



学校の様子をお伝えする手段としてホームページと共に、すぐるでの情報発信が定着してきました。引き続き、すぐるの良さとプリントでお知らせする良さを活用できるようにしていきたいと思います。ホームページについては、更新の頻度等についてのご意見をいただいています。すぐるによるおたより配信と共に、学校での子どもたちの様子をお伝えできるように努めて参ります。

## 記述欄

お忙し中、記述欄にもお時間を割いていただきありがとうございました。たくさんのご意見をいただき、ありがたく存じます。いただいたご意見は、一つ一つ読ませていただき、今後の学校教育活動に活かしていきたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

第1回学校運営協議会において、学校評価の結果について話し合いました。学校運営協議会の理事の皆様からは以下のようなご意見をいただきました。

- ・スマートフォンやタブレットの使用時間、ノートや辞書を使う時間などのバランスが大事だと考える。
- ・対話することで得られる情操教育もある。その部分がもし欠けたままで成長した時に、物事の捉え方や感覚など、いわゆる人間力のようなものはどうなるのだろうか。
- ・体験して初めてわかることもある。体験して学ぶことの楽しさを子どもたちは知っている。
- ・iPadでの筆談などリアル以外でも会話できてしまう。→自分たち（理事の皆様）の感覚とは違う。
- ・不登校傾向の児童について心配をしている。
- ・見えないいじめがないか、何とかつかんでいただいてケアしてほしい。苦しんでいる子どもは1人も出してほしくない。
- ・スクールカウンセラーの活用。

よりよい学校教育活動を行うために、いただいたご意見を活かしていきたいと思っています。